

第89期

株主通信

2008.4.1~2009.3.31

人と地球にやさしい製品づくり

CKD株式会社

証券コード:6407

ごあいさつ



代表取締役社長 梶本 一典

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び
申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第89期(平成20年4月1日から平成21年3月
31日まで)の営業の概況および決算内容につきましてご報告申
しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。

CKD Green Technology

当社グループでは、「CKD環境方針」に基づいて、環境対応型商品の開発を強力に推進しています。
省エネ・省資源化、汚染物質低減・汚染防止、有害物質の排除(EUで発効のRoHS対応)、静音化、
対環境性など、年度ごとに高い目標を設定し、人と地球にやさしい製品づくりに取り組んでいます。

CKDの主な製品の市場ポジション

自動機械部門

管球製造システム



薬品包装システム

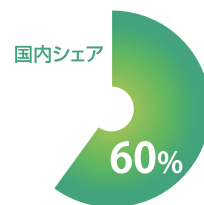


機器部門

半導体用薬液制御機器



流体制御機器



CKDのアドバンテージ

CKDは昭和18年の創立以来60年以上にわたって、自動化技術や流体制御技術の研究開発に取り組んできました。長い歴史に培われた独自の先端テクノロジーは、他社の追従を許さない圧倒的なシェアを持つ製品群に結実しています。

大型LCDの光源として使用されるCCFLタイプのバックライトを生産するシステムは世界70%のシェアを有し、液晶に代表されるフラットパネルディスプレイ(FPD)の大型化に寄与しています。高い安全性と環境性能をもつ薬品用自動包装システムは国内で80%のシェアを占めています。また、半導体製造に欠かせない薬液制御機器や、あらゆ

る産業に応用可能な流体制御機器についても国内でトップの地位を堅持しています。

未知の技術領域に果敢に挑戦するフロンティアスピリットと徹底した品質へのこだわり、そしてお客様に最良の商品やシステムをご提供していくという顧客満足の追及こそ、CKDの成長への原動力です。

CKDは世界13カ国に海外拠点を有するグローバル企業として、これからも独創技術の開発と万全の品質管理を通じて産業と社会に貢献し、自動化技術の未来を切り拓いていきます。

自動機械事業



液晶ディスプレイ用
バックライト製造システム



三次元はんだ印刷
検査機



蛍光灯製造システム



薬品包装システム



医療機器
包装システム



リチウムイオン電池用
捲回システム

機器事業



リニアスライドシリンダ



F.R.L. ユニット

省力機器

空気圧
制御機器



小形流量センサ



小形流量コントローラ

空気圧
関連機器

駆動機器



クリーンシリンダ
バルブ



集積化ガス供給
システム

流体
制御機器

ファイン
システム機器

部門別の状況

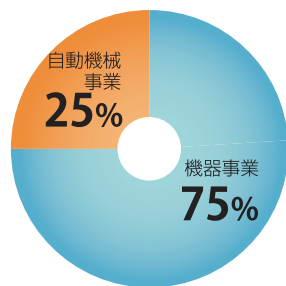
自動機械事業

自動機械部門につきましては、薬品包装機械の売上は増加いたしました。液晶テレビ用バックライト製造装置の売上が減少したことにより、連結売上高は前期比24.6%減の167億31百万円、営業利益はリチウムイオン電池製造装置等の開発機が増加したことにより前期比47.9%減の20億79百万円となりました。

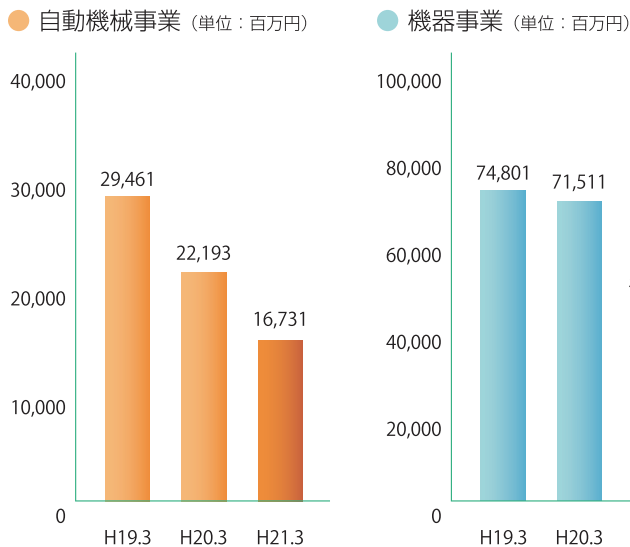
機器事業

機器部門につきましては、半導体関連業界、自動車関連業界、電気関連業界の設備投資需要が減少したことにより、連結売上高は前期比28.1%減の514億43百万円、営業利益は売上の減少により21億83百万円となりました。

売上高構成比



売上高推移



TOPICS

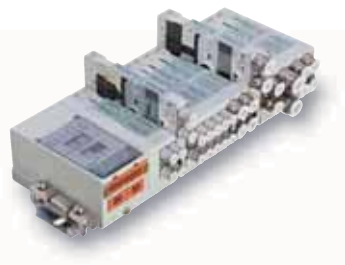
1

【新商品】パイロット式電磁弁マニホールド「MN4E00シリーズ」

当社は、世界が要望する省エネ、地球環境に対応し、また企業が要望する高い処理能力、省スペースにも対応した新商品「MN4E00シリーズ」を開発いたしました。

この「MN4E00シリーズ」は最先端市場のご要望にお応えし、「MN4E0シリーズ」をベースに当社のコア技術であるソレノイド技術を進化させた7mmピッチという業界最小・最軽量のパイロット式電磁弁マニホールドです。

小形化、軽量化によりバルブ単体で約30%の材料使用量を削減した他、標準的なマニホールドで15%~25%の省スペース化の実現や、使用時の消費エネルギーを33%低減し、省エネルギー化にも大きく貢献できる商品です。



TOPICS

2

【新商品】三次元はんだ印刷検査機「VP5200L」

当社は、電子部品実装分野で初のはんだ印刷インライン検査の自動化を実現し、多くのお客様から高い評価をいただいております。この分野では現在も国内トップシェアを維持しています。

この度、当社はこれまで培ってきた画像処理技術を、大幅に進化させた「VP5200L」を発売しました。

他社には出来ない圧倒的な「高速検査」を実現した新商品です。

電子部品の実装工程において命題であります「生産性の向上」に対応した商品です。「VP5200L」は、従来機に比べ検査スピードを最大約5倍にし、検査プログラム作成時間を約2分の1に短縮しました。



営業の概況

● 当期の業績

当期におけるわが国経済は、金融市場の混乱が実態経済へ波及し、景気は後退局面に入り、今後更に厳しい状況が続くものと予想しております。

このような状況のもとで、当社グループは、半導体関連業界を中心とした設備投資の抑制に加え、自動車関連業界、電機関連業界の設備投資需要が減少したことにより売上は厳しさを増し、収益面につきましても売上高の減少、自動機械部門の開発機の増加により原価率が悪化いたしました。また円高による為替差損の影響、たな卸資産の評価減、投資有価証券の評価損、繰延税金資産の取崩しもあり、前期比で減収減益となりました。

しかし、経営管理の面では、「総費用」の削減と、売上の「最大化」に重点を置き、収益悪化を最小限に抑制するため、緊急収益改善委員会を設置し、あらゆる手段を講じております。

グローバル化に対しては、海外販売、海外生産を強化

して事業の拡大を図るために、海外事業を統括する本部体制を整備いたしました。

生産面では、購買部門を一元化し、購買効率を改善するために、購買を統括する本部体制を整備いたしました。

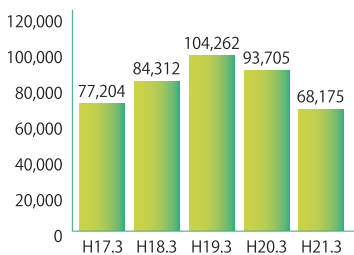
製品原価を削減するために、VA設計にも注力し、コスト改善活動を強力に推進してまいりました。

開発面では、事業の柱となる基幹商品の開発を推進すると同時に、省電力、省資源化を目的とした環境負荷低減商品にも力を入れ開発を促進いたしました。

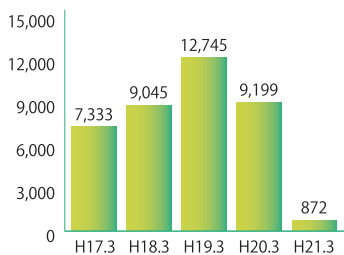
これらの事業活動を行ってまいりましたが、当期における連結業績は前期に対し減収減益となり、売上高は前期比27.2%減の681億75百万円、経常利益は前期比90.5%減の8億72百万円、当期純損失は28億49百万円(前期は55億46百万円の当期純利益)となりました。

連 結

売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



当期純利益 (単位：百万円)



● 設備投資の状況

当期の設備投資は、生産性向上を目的とした機械装置の取得、更新を中心に、自動機械部門で1億23百万円、機器部門で17億12百万円、総額は18億79百万円となりました。

● 資金調達状況

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく当期末日における貸出コミットメントの総額は125億円であり、借入実行残高は40億円であります。

● 対処すべき課題

当社グループは、平成21年度方針として「グローバル化の推進」、「環境対応ビジネスの強化」、「先端技術開発の拡充」の3つの方針を実践してまいります。

① グローバル化の推進

従来の海外販売の拡大に加え生産の拡大を強化してまいります。グローバル化を推進するためには、コスト競争力のある製品にすることが絶対条件であり、中国、タイの生産拠点を有効的に使って効率的な生産体制を構築してまいります。また、海外調達を強化し、コストダウンの推進を図ってまいります。

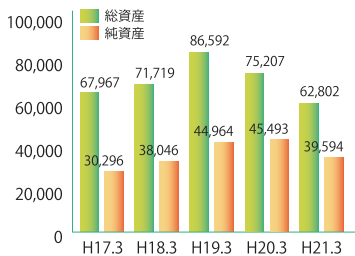
② 環境対応ビジネスの強化

省資源や省エネルギーは世界的な市場要求になってきています。お客様に省資源・省エネルギーが提案できる商品開発をしてまいります。

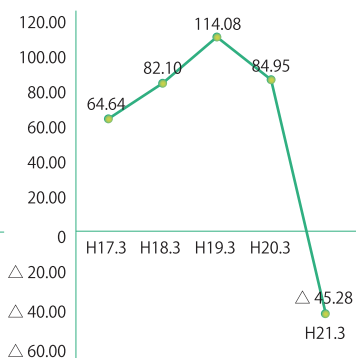
③ 先端技術開発の拡充

先端技術開発は生産技術も含めて競合や海外のコピーメーカーではつくりえない革新的な技術開発してまいります。

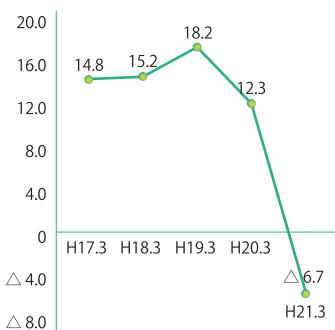
総資産・純資産 (単位: 百万円)



1株当たり当期純利益 (単位: 円)



自己資本利益率(ROE) (単位: %)



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

| 科目 | 当期 | 前期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 36,899 | 45,150 |
| 現金及び預金 | 4,516 | 3,611 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,457 | 20,435 |
| 営業未収入金 | 1,565 | 2,395 |
| たな卸資産 | — | 16,591 |
| 商品及び製品 | 3,532 | — |
| 仕掛品 | 1,819 | — |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,847 | — |
| 繰延税金資産 | 22 | 1,342 |
| その他 | 2,167 | 798 |
| 貸倒引当金 | △ 29 | △ 24 |
| 固定資産 | 25,903 | 30,056 |
| 有形固定資産 | 21,458 | 23,464 |
| 建物及び構築物 | 9,843 | 10,886 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,539 | 6,237 |
| 工具、器具及び備品 | 924 | 1,386 |
| 土地 | 4,633 | 4,606 |
| リース資産 | 259 | — |
| 建設仮勘定 | 258 | 346 |
| 無形固定資産 | 444 | 541 |
| 投資その他の資産 | 4,000 | 6,050 |
| 投資有価証券 | 2,723 | 3,889 |
| 繰延税金資産 | 161 | 697 |
| その他 | 1,194 | 1,552 |
| 貸倒引当金 | △ 78 | △ 88 |
| 資産合計 | 62,802 | 75,207 |

| 科目 | 当期 | 前期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 19,143 | 28,042 |
| 支払手形及び買掛金 | 6,771 | 13,582 |
| 短期借入金 | 7,516 | 6,270 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 705 | 1,305 |
| 1年内償還予定の社債 | 360 | — |
| リース債務 | 89 | — |
| 未払費用 | 444 | 2,553 |
| 未払法人税等 | 93 | 452 |
| 賞与引当金 | 1,379 | — |
| 製品補償引当金 | 32 | 83 |
| 受注損失引当金 | 9 | 93 |
| その他 | 1,741 | 3,700 |
| 固定負債 | 4,064 | 1,670 |
| 社債 | — | 360 |
| 長期借入金 | 2,700 | 5 |
| リース債務 | 152 | — |
| 退職給付引当金 | 217 | 195 |
| 繰延税金負債 | 1 | — |
| その他 | 992 | 1,109 |
| 負債合計 | 23,207 | 29,713 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 40,348 | 45,384 |
| 資本金 | 11,016 | 11,016 |
| 資本剰余金 | 12,612 | 12,612 |
| 利益剰余金 | 21,657 | 25,869 |
| 自己株式 | △ 4,938 | △ 4,113 |
| 評価・換算差額等 | △ 753 | 109 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 359 | △ 321 |
| 為替換算調整勘定 | △ 394 | 431 |
| 純資産合計 | 39,594 | 45,493 |
| 負債・純資産合計 | 62,802 | 75,207 |

連結損益計算書

単位:百万円

| 科 目 | 当期 | 前期 |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自:平成20年4月1日 至:平成21年3月31日 | 自:平成19年4月1日 至:平成20年3月31日 |
| 売上高 | 68,175 | 93,705 |
| 売上原価 | 52,379 | 68,483 |
| 売上総利益 | 15,796 | 25,221 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,969 | 15,739 |
| 営業利益 | 1,826 | 9,482 |
| 営業外収益 | 440 | 523 |
| 営業外費用 | 1,395 | 806 |
| 経常利益 | 872 | 9,199 |
| 特別利益 | 296 | 892 |
| 特別損失 | 2,271 | 579 |
| 税金等調整前当期純利益(純損失△) | △ 1,102 | 9,511 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 102 | 2,775 |
| 法人税等調整額 | 1,644 | 1,189 |
| 当期純利益(純損失△) | △ 2,849 | 5,546 |

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| 科 目 | 当期 | 前期 |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自:平成20年4月1日 至:平成21年3月31日 | 自:平成19年4月1日 至:平成20年3月31日 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 2,183 | 10,113 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 2,276 | △ 10,319 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 1,312 | △ 799 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △ 389 | 148 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(減少△) | 829 | △ 856 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 3,605 | 4,462 |
| 新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額 | 26 | — |
| 連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額 | △ 4 | — |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 4,458 | 3,605 |

連結株主資本等変動計算書 当期(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

単位:百万円

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 純資産 合計 |
|---------------------|--------|-----------|-----------|---------|------------|------------------|--------------|----------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 前期末残高 | 11,016 | 12,612 | 25,869 | △ 4,113 | 45,384 | △ 321 | 431 | 109 | 45,493 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | | | △ 0 | | △ 0 | | | | △ 0 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 1,392 | | △ 1,392 | | | | △ 1,392 |
| 当期純損失 | | | △ 2,849 | | △ 2,849 | | | | △ 2,849 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 824 | △ 824 | | | | △ 824 |
| 自己株式の処分 | | △ 0 | | 0 | 0 | | | | 0 |
| 連結範囲の変動 | | | 31 | | 31 | | | | 31 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | △ 37 | △ 825 | △ 863 | △ 863 |
| 当期変動額合計 | | △ 0 | △ 4,211 | △ 824 | △ 5,035 | △ 37 | △ 825 | △ 863 | △ 5,899 |
| 当期末残高 | 11,016 | 12,612 | 21,657 | △ 4,938 | 40,348 | △ 359 | △ 394 | △ 753 | 39,594 |

会社概要

会社概要 (平成21年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
(商号シーケーディ株式会社)

設立 1943年4月2日

資本金 11,016,380,748円

本社 〒485-8551
愛知県小牧市応時二丁目250番地
代表電話: (0568)77-1111

従業員数 2,071名(連結3,239名)

主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器、コントロール機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

役員 (平成21年6月24日現在)

| | |
|---------------|--------------|
| 取締役 | 執行役員 |
| 代表取締役社長 梶本 一典 | 常務執行役員 金田 堅 |
| 代表取締役 金田 堅 | 常務執行役員 古新 久二 |
| 取締役 塚原 正彦 | 執行役員 塚原 正彦 |
| 取締役 徳田 重友 | 執行役員 徳田 重友 |
| 社外取締役 佐伯 弘文 | 執行役員 永松 昌裕 |
| | 執行役員 丹羽 浩二 |
| 監査役 | 執行役員 水野 博文 |
| 常勤監査役 酒井 聰 | 執行役員 神田 祥史 |
| 社外監査役 長谷川式夫 | 執行役員 山内 吉一 |
| 社外監査役 奥村 勲軌 | 執行役員 坪井 和巳 |
| 社外監査役 芝吹 勝行 | 執行役員 野澤 好令 |
| | 執行役員 伊藤 一寿 |
| | 執行役員 高橋 卓也 |

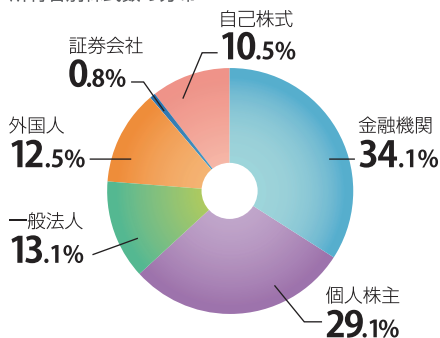
株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000株

発行済株式総数 69,429,349株

株主数 12,920名

所有者別株式数の分布



大株主 (平成21年3月31日現在)

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---|-------------|-------------|
| | 持株数 (千株) | 出資比率 (%) |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND | 5,950 | 9.57 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G) | 4,409 | 7.09 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 3,857 | 6.20 |
| CKD持株会 | 2,068 | 3.33 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 2,042 | 3.29 |
| 第一生命保険相互会社 | 1,900 | 3.06 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 1,710 | 2.75 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,581 | 2.54 |
| 住友生命保険相互会社 | 1,374 | 2.21 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,234 | 1.99 |

(注) 上記出資比率は自己株式を除いて計算しております。

国内生産拠点



本社・工場(愛知県小牧市)



春日井事業所(愛知県)



四日市事業所(三重県)



犬山事業所(愛知県)

株主メモ

| | |
|---------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 公告の方法 | 当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所および名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407) |
| ホームページアドレス | http://www.ckd.co.jp/ |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先) | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 |
| (インターネットホームページURL) | http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html |

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

自動化で未来を拓く

CKD